

2023年1月11日

各位

株式会社イオレ

【NFT×イオレ】日本初、上場企業としてゲームギルド事業を開始

～「ゲームをプレイしてお金を稼ぐ」仕組みを活用し、社会貢献を～

「らくらく連絡網」を始めとするPC・スマートフォン向けサービスや、インターネット広告事業を行う株式会社イオレ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：冨塚 優、以下イオレ）は、Web3（ウェブスリー）事業に参入し、GameFiプラットフォーム事業を展開するDigital Entertainment Asset Pte. Ltd.（本社：シンガポール、Founder & CEO：吉田直人、Founder & Co-CEO：山田耕三、以下DEA社）と業務提携のもと、上場企業として日本初となるNFTゲームにおけるギルド運営事業を開始することをお知らせします。

**■事業概要について**

今回イオレが開始する事業は、DEA社の運営するオンラインゲーム内においてギルドを運営し、NFTなどのゲームアイテム保有者が自身でゲームをプレイするよりも効率良く報酬を獲得した上で、獲得した報酬の分配を受けるものです。まずは、全世界で約260万人のユーザーがプレイしている人気オンラインゲーム「JobTribes」内においてギルド運営を開始いたします。

DEA社が行っている事業形態は、「Play to Earn（ゲームをしてお金を稼ぐ）」で複数の方法により外部の経済市場から原資を流入させ、その一部を報酬としてユーザーに還元するしくみです。DEA社が運営するNFTゲームプラットフォームを「PlayMining」といいます。

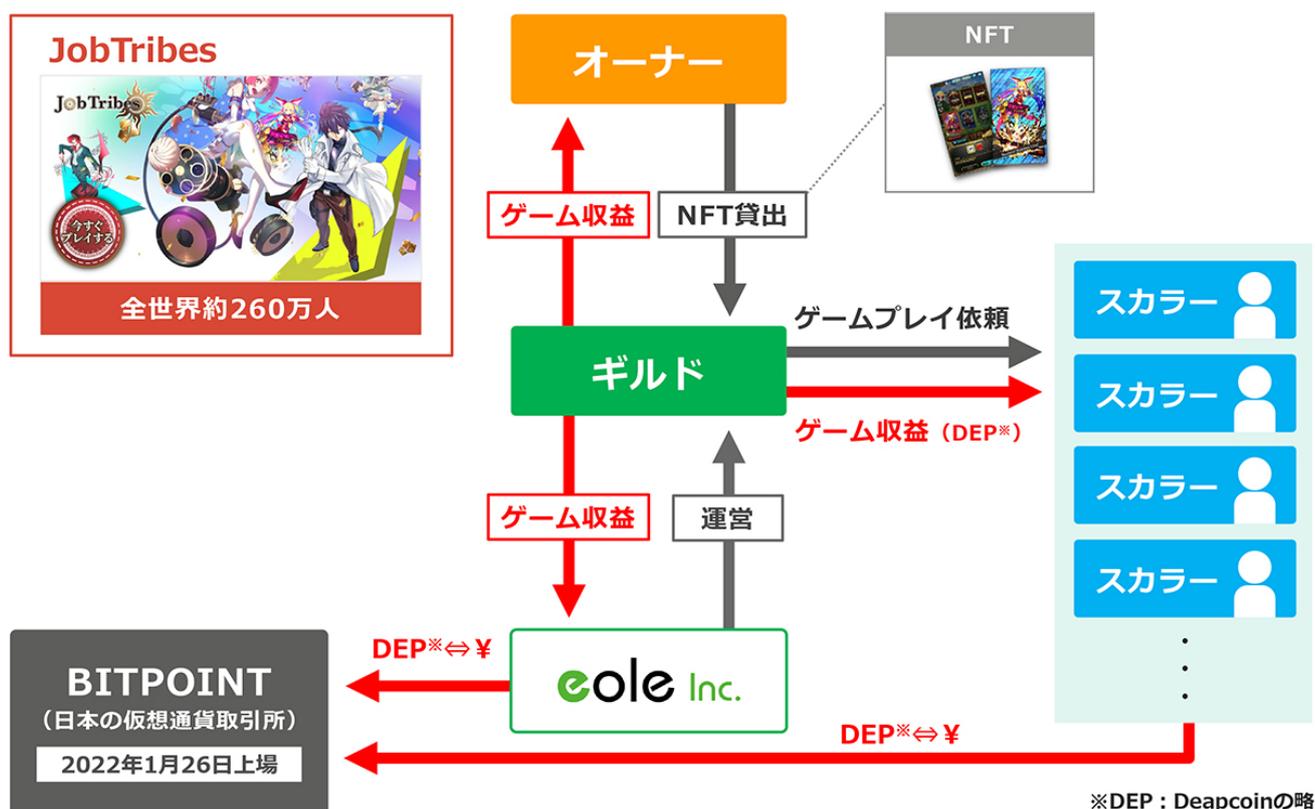
ゲーム内においては、NFT（ゲームキャラクターなど）の購入やゲーム内アイテムを使用して、ゲームを優位に進めることで獲得できる報酬を増やすことができます。イオレは現在、日本における販売代理店としてNFT及びゲーム内アイテムの販売を行っております。

また、NFT所有者が自身でプレイせずにゲームスキルの高いプレイヤーにNFTを貸し付けてプレイをしてもらい、報酬を配分する「スカラーシップ」という機能があります。このスカラーシップ機能を利用し、“スカラー”と呼ばれるゲームスキルの高いプレイヤーを集め、“ゲームギルド”と呼ばれるグループを形成し、個人が単独で行うよりも効率よくゲーム内報酬を獲得することを目指す事業は、ゲームギ

ルド事業と呼ばれています。

ゲーム内で獲得した報酬を（１）オーナー（NFT 所有者）（２）ギルド運営者（３）スカラー（ギルド所属メンバー）の3者で分配いたします。

今回、イオレは上場企業として日本で初めて、上記（２）のギルド運営を行う事業を行います。



現在、ゲーム「Job Tribes」のスカラーシップで雇用される方の多くは、フィリピン・インドネシアの貧困地域のプレイヤーです。コロナの影響を受けて雇用を失ってしまった人や健康の問題で働けない人などがこのスカラーシップを用いて収入を得、子どものオムツ代・ミルク代、家族の生活資金、学費、薬代などに充てています。

こうした社会課題に対する解決策としても Play to Earn は注目を集めています。イオレも今回新たにギルド事業を開始することにより、これらの社会課題の解決に貢献してまいります。

オーナーとして NFT 購入を希望される方、スカラーとしてゲームプレイを希望する方は下記までお問合せください。

問い合わせ先 : info@eole.co.jp

■事業開始の背景について

NFT（非代替性トークン）とは、「偽造・改ざん不能のデジタルデータ」であり、ブロックチェーン上でデジタルコンテンツに唯一性を付与し真贋性を担保する機能や取引履歴を追跡できる機能を持ち

ます。デジタル資産のコピーや改竄を防ぎ、作品の権利者を守るという付加価値から NFT 市場は急速な発展を遂げ、この数年で世界的に見ても大幅な拡大傾向となっています。最近では Web3 を国家戦略に掲げる政府の方針が出され、今後も飛躍的に成長していく領域であることが予想されます。このような市場の流れを鑑み、イオレは Web3 事業への参入を決定いたしました。今後 Web3 に関する知見とノウハウを蓄積しながら事業を成長させる方針です。

イオレは、これまでインターネット市場の変革とともに歩み、コンテンツ・インフラツール・アドテクノロジー・HR テックなど社会に必要とされるソリューションの提供を続けてまいりました。様々なインターネットビジネスを生み出す中で培われた知見を活かし、Web3 事業においても人々の役に立つサービスを展開してまいります。

なお、今回業務提携を行った DEA 社は、アジア、ヨーロッパ、北米を中心に事業を展開している、GameFi 領域をリードする企業です。代表の吉田直人氏はイオレの取締役会長でもあることから、今後 Web3 事業におけるパートナーとしてより良いシナジーを生み出せると考えております。今後、企業の価値向上に向けた取組について更なる協議を進めてまいります。

■コメント

【Digital Entertainment Asset Pte. Ltd. Founder & CEO

吉田直人氏】

この度、イオレと NFT ゲームにおけるギルド事業を開始することについて大変嬉しく思っており、まずは関係者の方々に感謝申し上げます。イオレは私自身が 2001 年 4 月に設立し、現在は会長を務める会社です。Play to Earn をグローバルに浸透させることをミッションとする弊社 DEA にとって、NFT ゲームギルド事業は、貧困問題の緩和や障害者支援など社会貢献活動や ESG に関する取り組みとして大変重要視しております。これから、イオレと一緒に Web3 エンターテインメント事業で世界 No.1 を目指していきたいと思っております。



【株式会社イオレ 代表取締役社長 冨塚 優氏】

DEA 社は、世界で初めてゲームで稼げる世界を創られた企業であり、私としてはその思いにとても共感をしております。今回日本市場におけるギルド事業を担当できることに、とても社会的意義を感じております。自宅にいながら携帯ひとつで稼げる世界は、貧困層や障がいがある方にも、新しい働き方を提供できることになると考えております。今後この世界観を拡大することに、より寄与していきたいと考えております。



■DEA 社について

2018年8月に設立されたシンガポールを拠点とするグローバルな Web3 エンターテインメント企業です。DEA は Play to Earn ゲームの開発会社であり、GameFi プラットフォーム「PlayMining」、NFT マーケットプレイス「PlayMining NFT」、メタバースプロジェクト「PlayMining Verse」、自社発行の暗号資産「DEAPcoin」の運営を行っています。3社の IPO を含むスタートアップ企業の設立、ヒットゲームの制作、ウェブテレビ番組の制作、NFT ゲームに対する深い理解など、数十年にわたる経験に基づいて、吉田直人と山田耕三の2人の共同 CEO がチーム全体を牽引しています。

代表者： 吉田直人 山田耕三

所在地： 7 Straits View, Marina One East Tower, #05-01, Singapore 018936

設立： 2018年8月

事業内容： GameFi プラットフォーム事業

会社名	株式会社イオレ
本社所在地	〒103-0003 東京都中央区日本橋横山町 6-16 RONDO 日本橋ビル 4F
代表者	代表取締役社長 冨塚 優
設立	2001年4月25日
資本金	7億7,328万円 ※2022年9月30日現在
従業員数	78名 ※2022年9月30日現在
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ PC・スマートフォン向け各種サービスの運営（「らくらく連絡網」「らくらく連絡網.app」「らくらくアルバイト」）・ アドテクノロジー商品「pinpoint」の開発・提供・ 運用型求人広告プラットフォーム「HR Ads Platform」の開発・提供・ インターネット広告事業・ セールスプロモーション事業
URL	https://www.eole.co.jp/

本件に関するお問合せ

株式会社イオレ Tel: 050-1802-7135 Mail: press@eole.co.jp

他社登録商標・商標等、記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

参考資料：ゲームギルド事業について

～ゲームをして生活ができる時代の到来、Play to Earnを活用し社会貢献にも繋げる～

■ Play to Earn（ゲームをプレイしてお金を稼ぐ）について

ブロックチェーンゲーム（以下、BCG）では、ゲーム内のミッションをクリアする、大会で入賞するなど、ゲームプレイの結果に応じて、暗号資産を獲得することができます。

BCGには、NFT化されたキャラクターを購入しないとプレイできないゲームや、NFTキャラクターを用いることでより多くの暗号資産が獲得できる機会を得ることができるゲームがあり、当社が今回ギルド事業を開始した「JobTribes」はそれに類するゲームになります。

■ ブロックチェーンゲーム（BCG）のビジネスモデル

ゲーム運営会社の収入源は主に3つあります。

① NFT販売収入 ②ゲーム内課金 ③広告・行政スポンサーなど

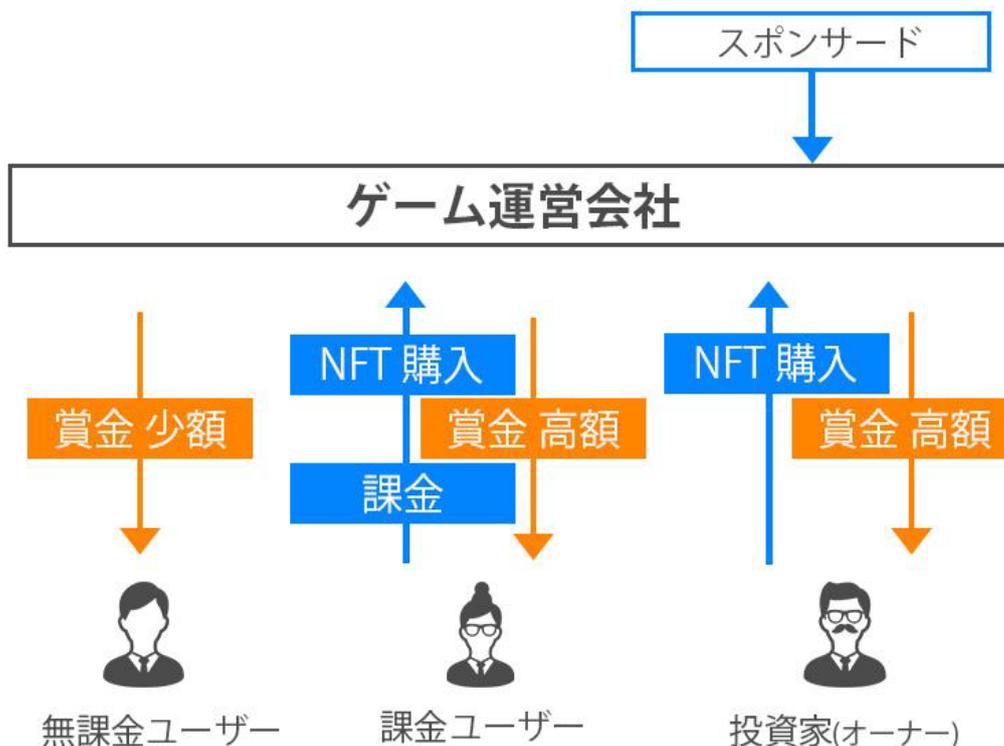
その収入を原資に賞金配布やゲーム運営を行います。

ゲームプレイヤーは大きく3つのタイプのプレイヤーがいます

(1)無課金ユーザー

(2)課金ユーザー（①NFT購入+②ゲーム内課金）

(3)投資家（①NFT購入）…スカラシップという機能を使い自分でプレイをしない層

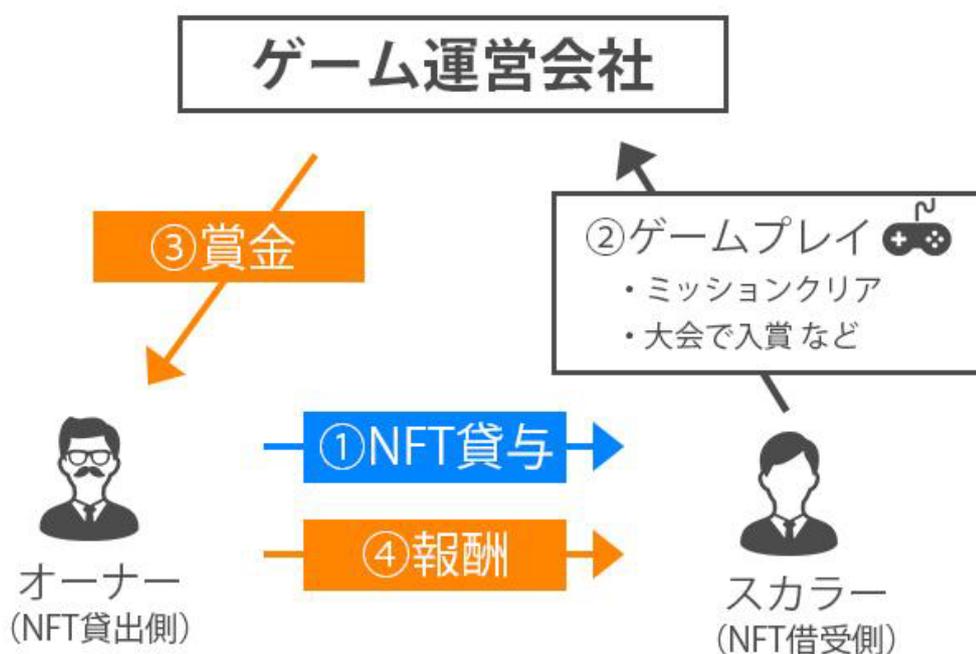


<スカラシップ機能>

BCGの中には、NFTを自分で購入しなくてもNFT所有者よりNFTを借り受けることができる「スカラシップ」機能を持つゲームがあり、当社が参画する「JobTribes」でもスカラシップ機能が実装されています。NFT所有者はオーナー、NFTを借り受けるプレイヤーはスカラーと呼ばれます。

オーナーが、スカラーが獲得してくれた賞金（暗号資産）の一部をスカラーに支払うことで、オーナーとスカラーの双方が暗号資産を稼ぐことができます。

※NFTはゲーム機能上で貸与されますが、ブロックチェーン上での所有者はオーナーのままになるので、スカラーによるNFTの持ち逃げはできません。



<スカラシップ機能のメリット>

BCGにおいて、高額NFTの保有とプレイヤー自身のゲームスキルにより収益は変動します。

高額NFTは強いステータスを持っているため、それを購入できるオーナーは自身にプレイスキルがなくても、ゲームスキルが高いプレイヤーとのスカラシップにより高額の暗号資産を稼ぐことができ、NFT獲得額の最大化に繋がります。

■ ゲームギルド事業について

多くのスカラーを雇用し、組織的にスカラシップ運営を行う事業はゲームギルド事業と呼ばれています。

現在、ゲーム「JobTribes」のスカラシップで雇用される方の多くは、フィリピン・インドネシアの貧困地域のプレイヤーです。コロナの影響を受けて雇用を失ってしまった人や健康の問題で働けない人などがこのスカラシップを用いて収入を得、子どものオムツ代・ミルク代、家族の生活資金、学費、薬代などに充てています。

こうした社会課題に対する解決策としてもPlay to Earn、ゲームギルド事業は注目を集めています。

す。

■ イオレのギルド事業について

イオレは、Digital Entertainment Asset Pte. Ltd.（以下DEA社）が運営するカードバトルゲーム「JobTribes」において認定ギルド「**eole game guild**」を設立し、2022年12月27日より開始されたシーズン11よりギルド事業をスタートしました。

2023年1月10日現在、450人以上のスカラーを雇用し、認定ギルドを運営しております。

ギルド事業を始めとしたWeb3事業を推し進めることで、企業の価値向上と社会課題の解決に寄与します。